



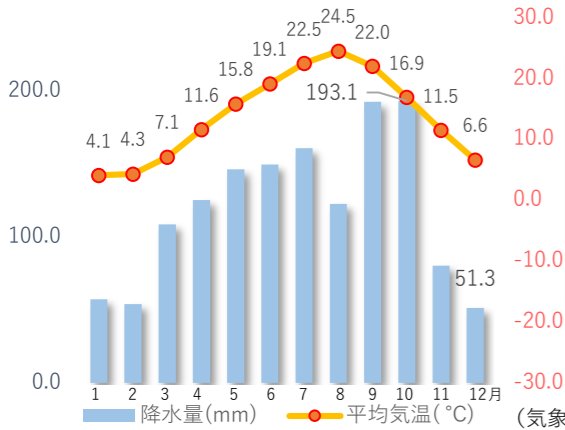
管内概況

位置及び地勢



気候

月別平均気温と降水量



人口及び面積



いわきの農林業

Agriculture and Forestry of IWAKI

令和6年度版

福島県いわき農林事務所

2024(R6)年4月1日

管内農林業の概況

当事務所が所管するいわき市は、福島県の南東部に位置し、標高0～964m、東西39.0km、南北51.5kmの規模を持つ広域都市です。

東は太平洋に面し、南は茨城県に接しており、西の阿武隈高地を水源とする夏井川、鮫川等が太平洋に注いでいます。

交通体系は、南北に常磐自動車道・国道6号とJR常磐線が縦断し、東西に磐越自動車道・国道49号とJR磐越東線が横断するほか、海の玄関口として重要港湾小名浜港を有しています。

気候は、海洋の影響で年間を通して気温較差が比較的少なく、年間平均気温は約14℃です。また、日照時間は年間2,000時間を超える本県で最も温暖な地域です。

降水量は全国平均より少なく、年間総降水量は1,400mm程度です。

また、降雪は山間部を除きほとんどありません。

いわき市は、昭和41年10月石城地方の5市3町4村と双葉郡の1町1村の合併により誕生した広域都市です。

面積は1,232.02km²で県土の8.9%、人口は令和6年4月1日現在318,946人で県人口(1,750,349人)の18%を占めており、市町村別人口は第2位です。

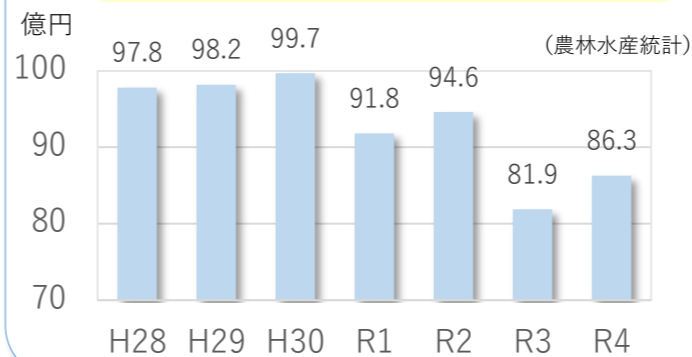
また、平成11年4月1日、県内では郡山市に次いで2番目に中核市に移行しました。

農業産出額の推移

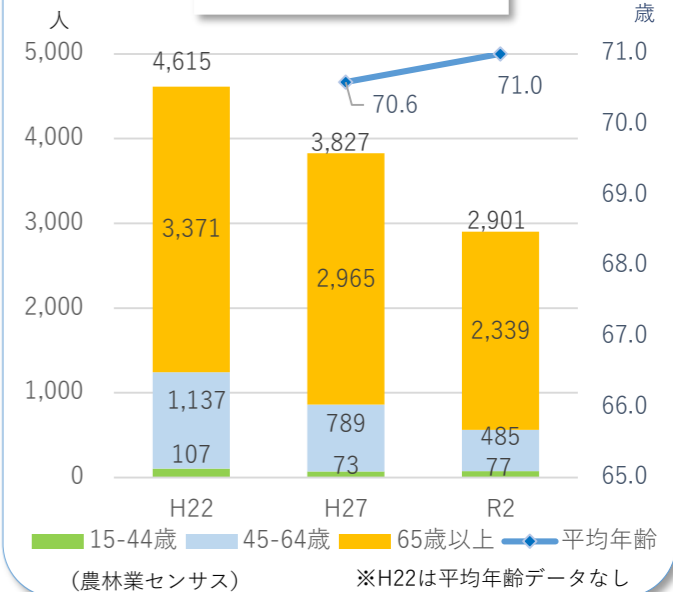
いわき市の農業産出額の推移

震災後増加傾向にあったが、R1は東日本台風等の被害により減少した。R3は米価下落の影響等により減少したとみられる。

R4 86億3000万円(県内7位)

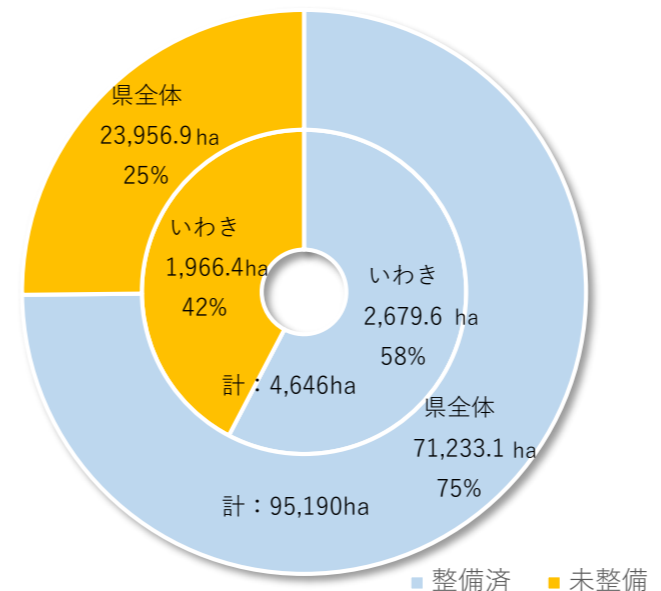


基幹的農業従事者



水田の整備面積と整備率 (R4)

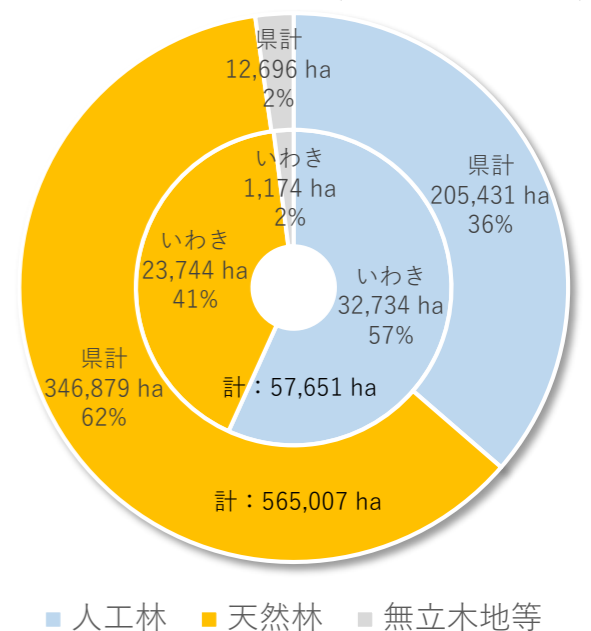
(農村基盤整備課調べ)



・対象面積は、「福島県農林水産業振興計画」の整備対象面積による
・東日本大震災に伴う津波被災分を考慮している

民有林相別森林面積 (R3)

(福島県森林・林業統計書)



2 持続的な発展を支える 生産基盤の整備と担い手の確保

(1)農業を支える担い手の確保・集落営農の推進

ア 多様な担い手の確保・育成
イ いわき地域就農支援センターとの連携

- 認定農業者数：269経営体（R6.3月末）
- 新規就農者数：10名（R5）
※雇用就農除く
- 農業次世代人材投資資金（経営開始型）
活用者数：3名（R5）
- 農業法人数：88法人（R6.3月末）
- 担い手への集積面積：2,527ha（R6.3月末）
- 地域計画作成済み：18地区（R6.3月末）
- 新規就農者育成総合対策（経営開始資金）
活用者数：3名（R5）



リモート就農相談



法人への経営指導

(2)生産基盤の整備

ア ほ場整備と広域農道整備の推進

- 農地中間管理事業
山田地区、神谷地区、神谷第二地区、瀬戸地区
- 広域営農団地農道整備事業（広域農道）
全長 L=9,823m（R5まで:9,351m,95%）



整備中の農道（いわき地区）



整備された森林（田人地区）

イ 森林整備と林道等路網整備の推進

- 森林整備：567ha(R4)
森林環境保全整備事業、ふくしま森林再生事業、森林環境基金森林整備事業など
- 路網整備：974km(R4までの総延長)
森林居住環境整備事業、林業専用道整備事業など



整備中の林道（永井川前線）

1 東日本大震災及び原子力災害からの復興

大震災（津波・地震）からの復旧・復興

- (1) 農林水産業に関する情報発信
- (2) 出荷制限等品目のモニタリング検査
- (3) 製材品表面線量調査
- (4) いわき産農林産物の販売促進
- (5) 出荷管理状況調査



いわき農林水産ニュースによる情報発信

3 地域の特性をいかした安全・安心な農林水産物の提供

(1)主要園芸品目の産地充実・強化

ア トマト(ミニトマト)：ICT技術活用による生産安定
イ 日本なし：生産性向上のための改植・ジョイント栽培導入推進
ウ りんどう：発生消長に応じた病害虫対策
エ トルギキョウ：団体活動支援、技術の高位平準化

- トマト(ミニトマト) 出荷量 1,676 t (R5)
- 日本なしジョイント栽培導入面積 32a(R5)
- りんどう単収 14.9千本/10a(R5)
- トルギキョウ単収 14.0千本/10a(R5)



梨ジョイント栽培研修会



サンシャインいわき トマト・ロゴマーク (登録日：R2.1.7)

(2)気象条件、標高差をいかした園芸品目の振興

ア 大規模施設によるトマト養液栽培の導入
イ 中山間地域での園芸振興

- トマト養液栽培 10経営体、1,909a(R5)
- 中山間地域での園芸振興
・全域：ピーマン(北部57a、南部34a)(R5)
・川前地区：夏秋ねぎ(7a)(R5)



いわき地方GAP推進協議会

(3)農産物及び生産活動の安全確保

ア 事業活用によるGAP認証取得の推進
(ア)推進体制の整備(いわき地方GAP推進協議会)
(イ)JA生産組織、大規模法人への取得誘導

- GAP認証取得実績(累計) 50件(R6.3月)

(4)豊かな森林資源をいかした主伐・再生林の推進

ア 主伐から再生林までの一貫施業システムの導入による作業の効率化

イ 皆伐・再生林の取組支援

- 人工林率 57% (県平均36%)
- スギ人工林の5割が10齢以上
- 素材生産量(民有林) 111,558m³ (R3)



林業技術伝承事業現地調査

4 地域の特性をいかした農山漁村の形成

(1)防災・減災対策

ア ため池の洪水被害防止
(ア)ため池劣化状況評価 163/163箇所(100% R4)
(イ)地震耐性調査 107箇所完了(R5まで)
(ウ)防災重点農業用ため池防災工事
10地区(R7～R12)着手予定
イ 山地災害防止
(ア)県土保全上重要な森林を保安林に指定
(イ)治山施設等整備

- 山地災害危険地区着手率 65.4%(R4)



萱手池(泉町下川)



治山ダム(江尻地区)

流通・販売の強化
のブランド力

(5)輸出への取組

ア「サンシャインいわき梨」のベトナム輸出(H29～)
(ア)JA、JA梨生産部会、いわき市、ジェットロ等の連携
(イ)販路拡大

- R2実績 6.0t (幸水、豊水、新高)
- ※R3休止
- R4実績 4.0t (豊水、新高)
- R5実績 4.0t (豊水、新高)



サンシャインいわきなし・ロゴマーク (登録日：R2.1.7)

(6)県産農産物のPR

「おいしい ふくしまいただきます！」
キャンペーン
GAP認証農産物のPR、地産地消の推進、消費者理解促進



キャンペーンの様子

- キャンペーン開催回数
R5 5回(6月,9月,11月,1月,フォトコンテスト(8～10月))

(7)6次化商品の開発支援

ア ふくしま地域産業6次化サポートセンターとの連携
イ 高校生発！Iwakiならではのグルメをつくろう
(ア)若者の発想力を生かしたレシピ開発
(イ)地元農産物の魅力発信



高校生と飲食店の共同開発商品

- レシピ応募総数 6校 44作品 (R5)

(8)林業の成長産業化の推進

ア 高い人工林率や活発な木材産業などを活かした関係者の連携強化、ICTなど先端技術の活用による森林・林業の活性化
イ 持続可能な林業推進
ウ「いわき市豊かな森づくり・木づかい条例」の制定(R3.4.1)



スマート林業構築実践事業現地調査

- 森林認証材の活用 17,753m³ (H31～R4)

(9)ブランド力強化の推進

農林水産部公式You Tubeチャンネル(1400のネタばらし)の動画制作



「1400のネタばらし」動画公開

- 動画公開数 44本(R6.3月末現在) ※累計

(2)農山漁村の多面的機能の発揮

ア 若い世代の意識醸成
(ア)インターンシップ研修の開催
(イ)農林業体験ツアーの実施
(ウ)県民参加の森林づくり



インターンシップ研修 農林業体験ツアー

- 森林づくり活動参加者数 14,067名 (R4)

イ 田んぼダムの取組 2組織 (R5)
ウ 鳥獣被害対策



森林づくり活動

- 電気柵等設置指導集落数 6箇所/年(R5)

1 農業振興の取組

(1) 気象条件を生かした園芸品目の推進

ア いちご

- (ア) いちごの栽培面積は4.1ha、うち観光いちご園が1.5ha
- (イ) 県オリジナル品種「ふくはる香」の導入面積が約54%
- (ウ) 高設養液栽培導入による省力化の取組

イ 大型トマト施設の導入

- (ア) 温暖で豊富な日射量を生かし、補助事業を活用したトマト施設の導入 (R5年度実績 8経営体、8.43ha(園芸振興プロジェクト))

- (イ) 6経営体※+市場・JAで「サンシャイントマト出荷協議会」を構成、「サンシャインいわきトマト」ブランドとして、県内外に出荷、販売

※農事組合法人 大野水耕生産組合、(有)とまとランドいわき、あかい菜園(株)、(株)JRとまとランドいわきファーム、

(株)ネクストファームいわき、(株)ナラハプラントファクトリー

- (ウ) 令和2年1月にロゴマークが商標登録、PR面で大きな効果

ウ 養液栽培施設の導入

- (ア) 養液栽培の大半がトマトで、その他はいちご、葉ねぎ等
- (イ) 環境制御装置を導入した養液栽培による長期出荷、安定多収・高品質化、作業の省力化の取組

エ 中山間地域での園芸振興

中山間地域の冷涼で寒暖差が大きい気象条件に適した園芸品目を推進
夏秋ねぎ (川前地区) : 他産地との競合回避
ピーマン (全域) : 軽量で栽培しやすく、高齢者でも収穫が容易
りんどう (川前、三和) : 寒暖差が大きいことから花卉の発色が良い



トマトハウス内の状況

(2) いわき産農林産物のPR

ア 地産地消・食農教育・消費拡大の取組

- (ア) 学校給食における県産農林産物の活用 (地産地消率・グラフ右)
- (イ) ふくしま食育実践サポーター登録: 23の個人又は団体 (R6.3月現在)
- (ウ) 「ふくしまプライド。」県産農林水産物販売力強化支援事業 (H27~) 販売促進活動や商品の魅力向上の取組を支援 (R5: 6団体)
- (エ) 「おいしいふくしまいただきます！」キャンペーン (H23~) 地元農林産物の魅力やGAPの取組をPR (R5: 5回実施)
- (オ) 農林業体験ツアー (H30~)

いわきの中山間地域において大学生等を対象とした体験ツアーを実施

イ 地域産業6次化の取組

- (ア) 高校生発! Iwakiならではのグルメをつくろう事業 (R5~)
- (イ) いわき地域産業6次化ネットワーク会員数 277名 (R6.3月現在)
- (ウ) ふくしま地域産業6次化サポートセンターとの連携

6次化ステップアップ強化事業



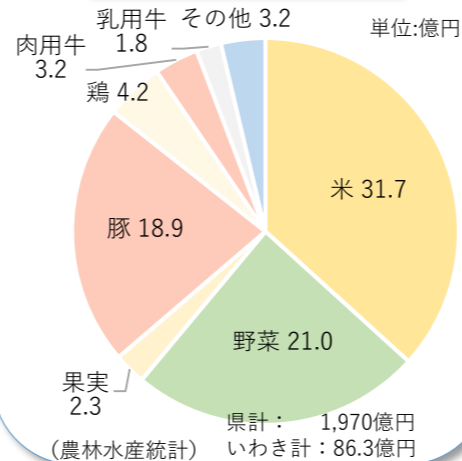
食育実践サポーター派遣事業



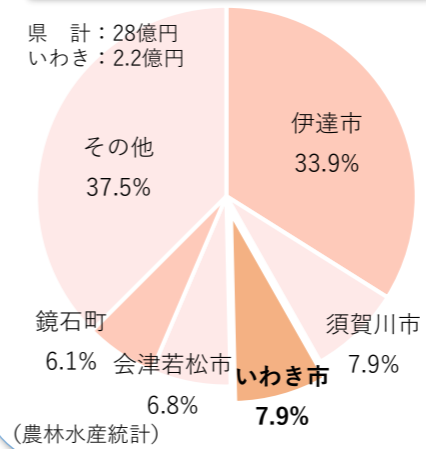
高校生発! Iwakiならではのグルメをつくろう事業お披露目会

2 いわき市の主な農林産物 (令和4年度産出額等)

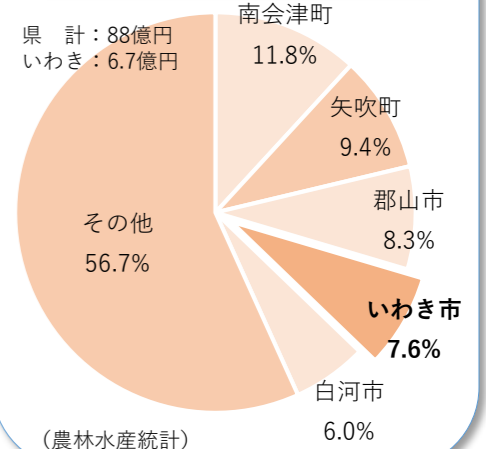
作物別農業産出額



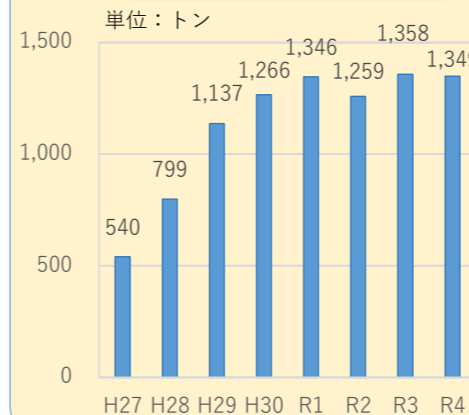
いちご産出額 (県内3位)



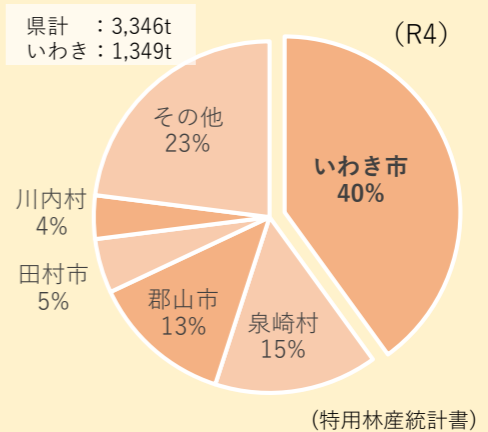
トマト産出額 (県内4位)



生しいたけ生産量

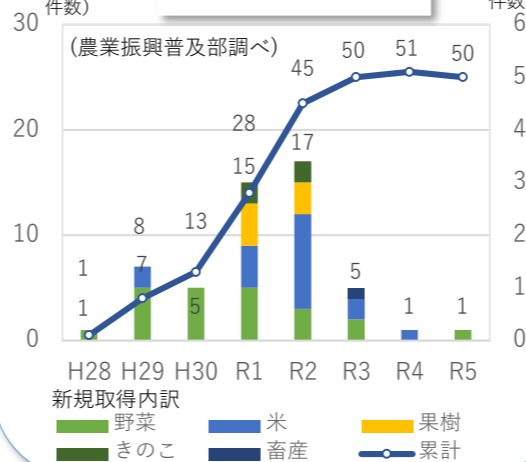


生しいたけ (県内1位)

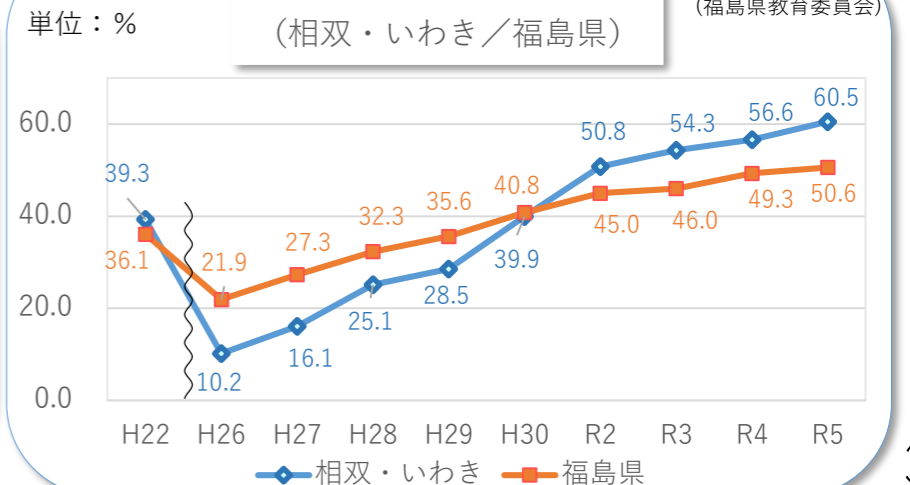


3 「いわきならではの」の魅力PR

認証GAP取得状況



学校給食における地産地消率



いわき農林事務所における特徴的な取組について (2)

福島県いわき農林事務所
2024(R6)年4月1日

1 農村整備の取組

(1) 生産基盤の整備

ア ほ場整備の推進

- ・整備内容 → 農地の大区画化・汎用化（田畑転換），用排水路の装工等
- ・営農の変化 → 大型機械の導入による効率化，高収益作物の導入，維持管理の省力化
- ・地域への効果 → 農地中間管理機構による担い手への農地集積、集約化を加速。

[R6実施地区] 山田地区、神谷地区、神谷第二地区 瀬戸地区
R6管内整備予定面積 **A=39.5ha**



ほ場整備（山田地区）

イ 安定的な用水供給の維持

- ・農業水利施設（幹線用水路、取水堰、揚水機場）の現状 → 多くの施設が高度成長期に造成。老朽化が進行し、突発事故のリスクが増加。
- ・効率的な補修・更新に向けて → 機能診断等により現状を把握し、補修・更新の方針や時期を定める機能保全計画を定め、適時工事を実施。

[R6実施地区] 夏井川左岸2期地区(小川江筋用水路) 受益面積※ **A=866ha**
 鮫川堰地区(鮫川堰用水路) 受益面積 **A=59.4ha**
 ※ 完了時に用水供給が維持される面積



水利施設の整備（夏井川左岸地区）

[R6機能保全計画作成地区] 鮫川堰地区(頭首工1箇所)、千軒平地区(ダム1箇所)
 四時地区(用水路2路線)

ウ 広域農道整備の推進

- ・効果 → 農産品物流の効率化（小川地域⇄四倉地域）、沿線農地での利便性向上等

[R6実施地区] いわき地区 供用済延長 **L=9,339m**



地震耐性調査

(2) 地域の特性を生かした農山漁村の形成

ア 防災減災対策 ～防災重点農業用ため池～

- ・防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法 → R2～R13までに防災工事等を集中的、計画的に推進（管内工事着手10箇所）

[R6実施] 地震耐性調査 **N=35箇所**、R7採択に向けた国の審査対応 **N=5箇所**

イ 農山漁村の多面的機能の発揮

- ・農村の現状 → 過疎・高齢化等により集落機能が低下し、多面的機能の発揮が困難。
 ※多面的機能：国土保全、水源かん養、洪水調整（田んぼダム）、良好な景観形成等
- ・機能の維持・発揮に向けて → 地域の共同活動（水路の泥上げ、草刈り等）を支援。

[R6活動組織] 51組織



多面的機能支払交付金事業の取組

ウ 「生きもの調査」の取組

- ・取組 → 小学生を対象に、農業用水路など身近な自然環境を学び、農業・農村の大切さの理解を深めてもらう。

[R6実施] 1校

2 取組状況

ほ場整備（農地中間管理機構関連農地整備事業）

実施地区

| 地区名 | 工期 | 受益面積 | 集積率 | | 導入する高収益作物 |
|--------------|--------|--------|---------------|--------|---------------------------|
| | | | 事業前→完了時 | 増 | |
| 山田 | R2-R7 | 41.7ha | 31.2% → 82.8% | 51.6%増 | ネギ2.6ha |
| カベヤ 神谷 | R3-R8 | 40.9ha | 24.3% → 85.3% | 61.0%増 | キャベツ3.3ha 白菜3.3haほか |
| カベヤ 神谷第二 | R5-R10 | 64.8ha | 14.6% → 88.9% | 74.3%増 | イチゴ0.7ha ネギ1.2ha |
| 瀬戸 (R6新規) | R6-R11 | 35.3ha | 28% → 83.3% | 55.3%増 | イチゴ0.2ha トルコギョウ0.1haほか |

調査計画地区

| 地区名 | 調査年度 | 採択目標 | 想定受益面 |
|------------------|-------|------|---------|
| 赤沼 | R5-R6 | R8 | 93.1ha |
| 大野第三 | R5-R6 | R8 | 121.1ha |
| スギナミ 菅波(R6新規) | R6-R8 | R10 | 57.6ha |

農業水利施設 機能保全計画策定状況

| 施設 | 策定対象 | 詳細版 | | 簡易版 策定済 |
|---------|------|-----|----------------|------------|
| | | 策定済 | 策定中 (R5-R7) | |
| 用水路 | 9 | 6 | 2 | 2 |
| 堰・頭首工 | 4 | 2 | 2 | 3 |
| 排水機場 | 2 | 2 | - | - |
| ダム(ため池) | 1 | 0 | 1 | 1 |

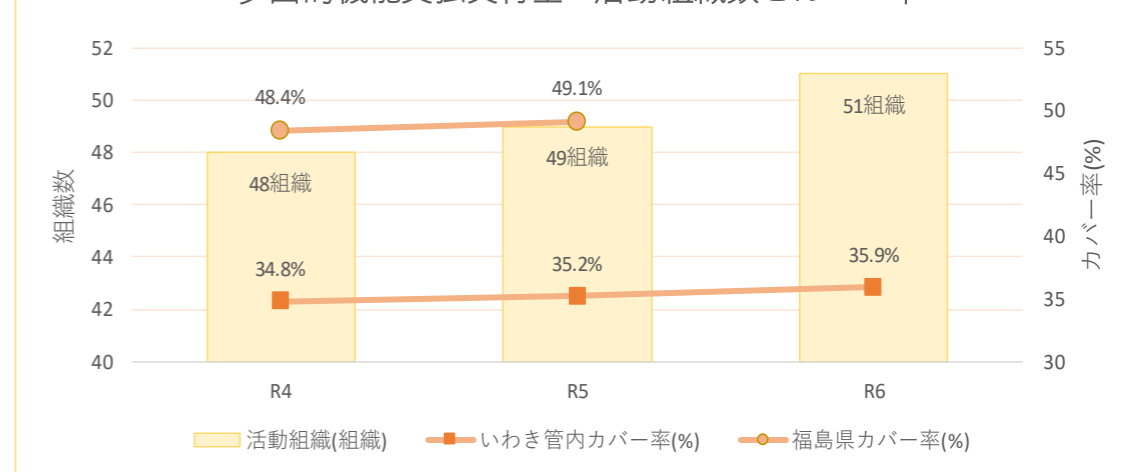
※策定対象 受益面積A=100ha以上の基幹農業水利施設

防災重点農業用ため池 調査進捗状況

| 管内163箇所 | 調査進捗状況 | | |
|---------|--------|----|----|
| | R5まで | R6 | R7 |
| 劣化状況調査 | 163 | - | - |
| 豪雨耐性調査 | | | |
| 地震耐性調査 | 107 | 35 | 19 |

※調査はR7が終期

多面的機能支払交付金 活動組織数とカバー率



カバー率：農地維持 交付対象面積 / 農用地面積

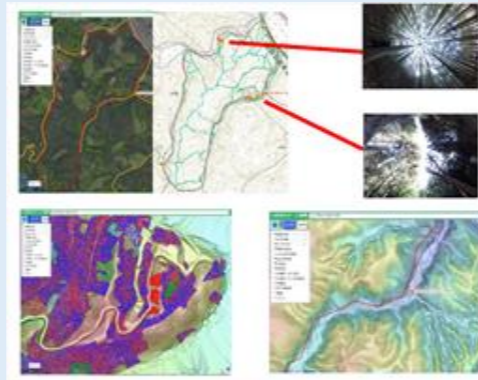
1 森林・林業・木材産業の取組

(1) ICTなど先端技術の活用等による森林・林業の活性化

いわき地方の高い人工林率と活発な木材産業によるさらなる林業の成長産業化を目指した取組を実施

ア 森林認証の取得

いわき市森林組合が平成30年に三和町の6,794haについて森林認証を取得。遠野興産(株)取得分なども含め、いわき市全体で6,803haの森林認証を取得



地域版森林クラウド画面イメージ

イ いわき市持続可能な森林・林業推進会議

持続可能な森林・林業の実現化に向け平成30年度に設立(いわき地区林業活性化センターを事務局に国や県、市、素材生産業者、製材加工業者、学識経験者などで組織)。サプライチェーンマネジメント推進体制の構築による林業成長産業化を目的に、スマート林業構築実践事業(※)の取組を行った。

※ スマート林業構築実践事業

木材(森林認証材)について、森林から製材工場、木材製品に至るまでの物流の情報を共有し、効率化を図るシステム構築に向け、令和元年度から3か年計画で事業を実施し、森林蓄積情報などの共有可能なシステムを構築した。



高性能林業機械による地捨え

(2) 主伐・再生林の推進

森林の主伐・再生林を進めるため、施業の効率化が図れる皆伐から再生林までの一貫作業システムの導入を推進。

ア 林業技術伝承事業における一貫作業のモデル事業の実施による低コスト化に向けたデータの収集、事例のとりまとめ、林地状況別のコストの検証結果を得た。

イ 森林機能維持事業における一貫作業システムによる、伐採・再生林及び再生林・下刈(初回分)の補助。

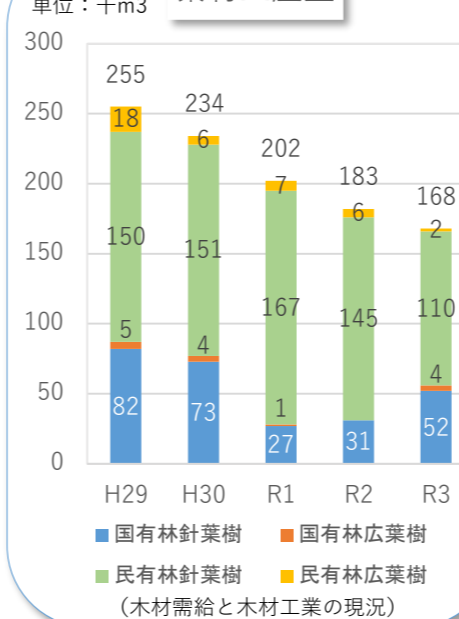
○参考

「いわき市豊かな森づくり・木づかい条例」

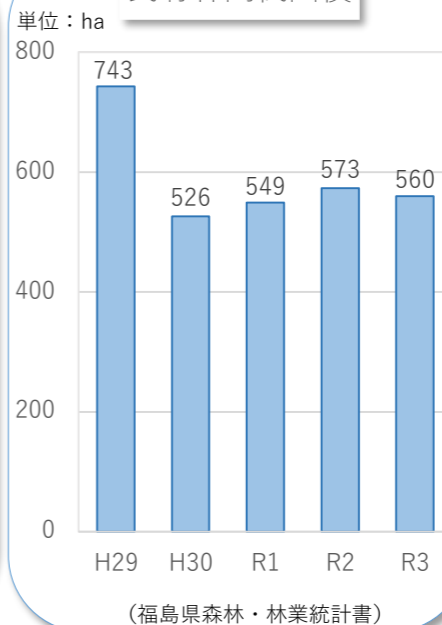
いわき市では、林業及び木材産業の持続的かつ健全な発展による地域経済の活性化や、森林の有する多面的機能の持続的な発揮に寄与することを目的に令和3年4月1日より条例を施行。

2 林業データ

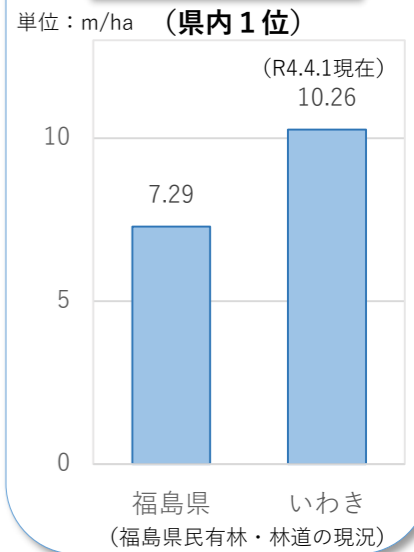
素材生産量



民有林間伐面積



林道路網整備状況 (密度)



3 林業の基盤整備と山地災害防止の取組

(1) 林道等路網の整備

木材等の林産物の搬出や森林の適正な管理、林業経営に必要な資材や機械の運搬を効率的に行うため、重要な基盤となる林道や作業道などの路網整備を実施。

(2) 治山事業の実施

森林の適正な維持・造成を主体として、山崩れや土石流、地すべり等の災害を防ぐとともに、水源かん養機能や保健休養機能などの森林の有する様々な機能を向上させるため、治山事業を実施。

| 令和5年度森林土木工事等一覧表(県営) | | | | |
|---------------------|----------|-----------------------|-----------------------------------|----------------|
| 区分 | 事業 | 地区 | 内容 | 事業費 [千円] |
| 林道事業 | 森林居住環境整備 | 永井川前線 | 工事: W=4.0 (5.0) m, L=0.0(510.16)m | 75,170 |
| | | | 工事: W=4.0 (5.0) m, L=0.0(830.16)m | 250,000 |
| | 小計 | | | 325,170 |
| 治山事業 | 保育 | 新舞子ほか | 森林整備: 20.24ha | 8,009 |
| | | 南横手 | 森林整備: 0.49ha | 3,313 |
| | 治山施設 | 根古屋 | 工事: 床固工N=1基 | 19,989 |
| | | 下毛 | 工事: 谷止工N=1基、山腹工A=0.25ha | 57,647 |
| | | 脇ノ作 | 工事: 山腹工A=0.02ha | 12,289 |
| | | 下毛II | 工事: 谷止工N=1基、測量・設計 | 41,000 |
| | | 寺ノ作 | 工事: 山腹工A=0.03ha、測量・設計、補償 | 25,480 |
| | 小塚 | 工事: 山腹工A=0.09ha、測量・設計 | 60,917 | |
| | 小計 | | 228,644 | |
| 合計 | | | 553,814 | |



| 相談の内容 | 担当課 | 電話番号 |
|------------------------------|-----------------------------|------------------------------|
| 農業制度金融 | 農業振興普及部 農業振興課 | 0246-24-6160 |
| 農作物等の技術対策 | 農業振興普及部 地域農業推進課 経営支援課 | 0246-24-6161 0246-24-6162 |
| 林業・木材産業の融資 | 森林林業部 林業課 | 0246-24-6192 |
| 保安林内での土砂災害 (被害箇所の情報提供を含む) | 森林林業部 森林土木課 | 0246-24-6198 |
| 林道施設 | いわき市 農林水産部農林土木課 | 0246-22-1287 |
| 農地・農業用施設 (被害箇所の情報提供を含む) | いわき市 農林水産部農林土木課 | 0246-22-1149 |

相談窓口

東日本大震災

(令和3年度までに復旧事業完了)

1 農業被害

41件、7億969万円

2 農地等被害

412箇所、23億円

3 林業被害

213箇所、24億6,136万円

令和元年東日本台風

(令和4年度までに復旧事業完了)

1 農業被害

【被害状況】
311.4ha、3億8,412万円

① <トマト栽培施設>



2 農地等被害

【被害状況】
693箇所、47億6,100万円

② <小川町落合地区>



3 林業被害

【被害状況】
426箇所、6億3,114万円

③ <林道「母成線」>



④ 夏井川の氾濫 (平窪地区ほか)

夏井川の氾濫による平窪地区等の浸水被害 (福島県土木部R1.10.13撮影)



令和5年台風13号

1 農業被害

A <水稻育苗施設>



【被害状況】
171.34ha/20件、1億3,841万円
【支援状況】
(1)被災した農作物の草勢回復と病害虫防除対策の支援
(2)水害により改植が必要となった種苗の支援
(3)被災施設の復旧支援
(4)収穫不能水田の地力回復の支援
(5)早期の営農再開に向けた土作りや栽培技術、肥料設計等の支援

2 農地等被害

B <渡辺町子繁地区>



【被害状況】
604箇所、5億8,100万円
(1)農地
(2)ため池、頭首工、水路、道路
【復旧状況】
災害査定 R5.11.27~R5.11.30
(1)市 18箇所 (農地、農業用施設)

3 林業被害

C <林道「櫓石線」>



【被害状況】
123箇所、2億2,090万円
(1)林地における国道への土砂流出
(2)林道施設における路体崩壊等
(3)林産施設等における浸水被害
【復旧状況】
(1)国道289号 1箇所(復旧済)
(2)市 林道施設災害復旧事業 7箇所 (復旧工事契約済)
(3)林産施設 1箇所(自主復旧済)

いわき地方におけるGAP認証農産物供給可能農場マップ


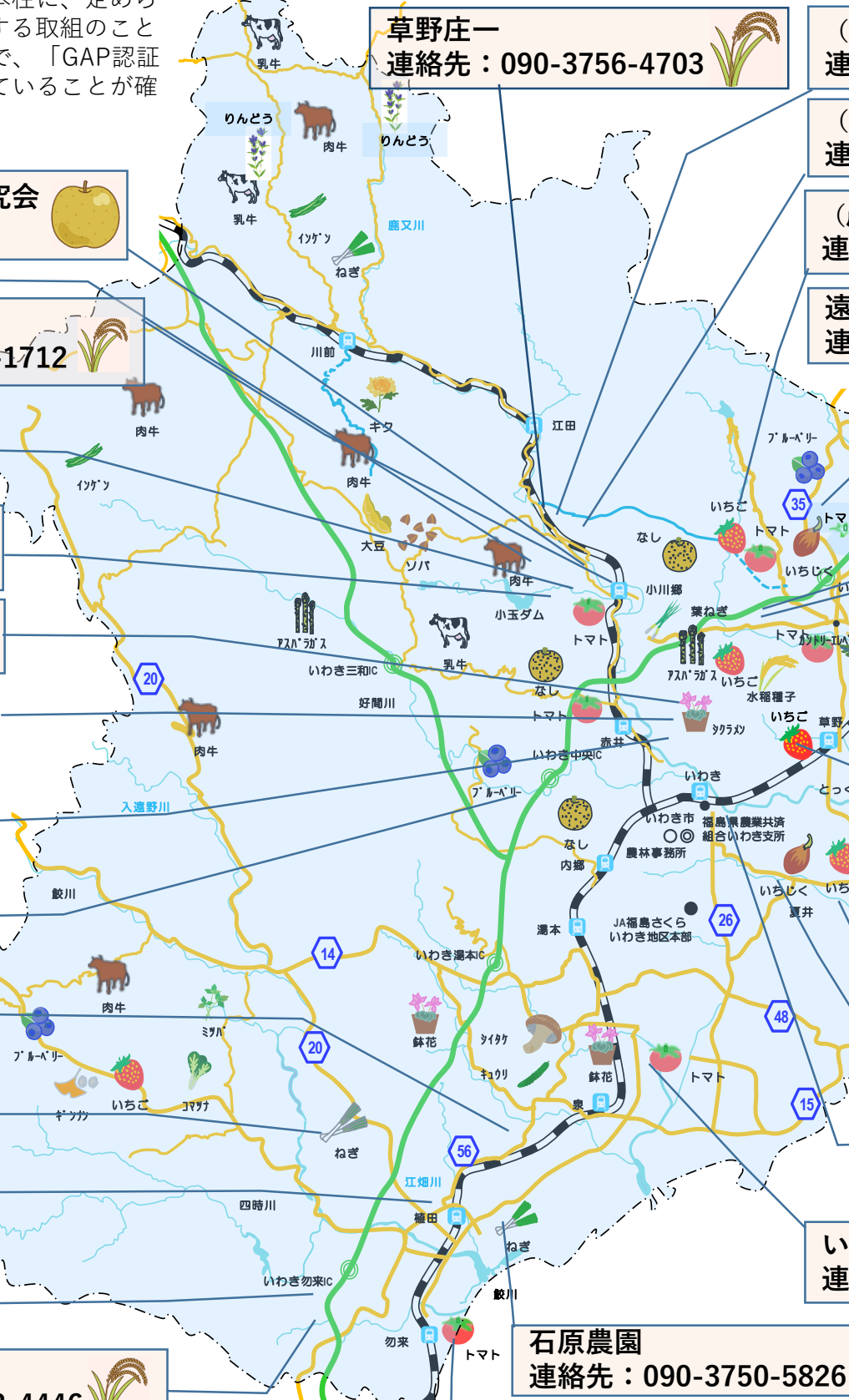
いわき農林事務所
令和6年4月1日現在

GAPって何？

GAPとは、農業において、食品安全、環境保全、労働安全を3本柱に、定められた基準に沿って各農場毎のルールを決め、実行・記録・検証する取組のことです。「GAPをする」とは、農業者がGAPを自ら実践することで、「GAP認証をとる」とは第三者機関の審査により、GAPが正しく実践されていることが確認されることです。

本マップの生産者はすべて、GAP認証を取得した生産者です。

左記QRコードは県内のGAP認証を取得している生産者の情報が掲載されている「ふくしま。GAPチャレンジ」です。是非、本マップ上の生産者情報もご確認ください！

JA福島さくらいわき梨部会GAP研究会
連絡先：0246-83-1122

(株)ネクストファームいわき
連絡先：0246-88-8819

平塚宏
連絡先：080-5569-1712

丸山雄三 (楽・農・人ゆうゆうファーム)
連絡先：0246-83-3110

草野いちご園
連絡先：090-6453-8908

渡邊信行
連絡先：090-2793-5237

あかい菜園 (株)
連絡先：0246-68-6969

鈴木義直
連絡先：0246-21-4852

(株)たふいあ
連絡先：0246-68-8591

小川保夫
連絡先：090-2950-4622

磐栄アグリカルチャー(株)
連絡先：0246-96-6311

福島県立磐城農業高等学校

安島美光(あじま農園)
連絡先：090-5597-7313

園部新
連絡先：090-2602-4446

草野庄一
連絡先：090-3756-4703

(株)小川きのご園
連絡先：0246-38-5224

(有)ユウ
連絡先：0246-43-0110

(農)大野水耕生産組合
連絡先：0246-33-3434

遠藤清信
連絡先：080-5577-3760

(株)JRとまとランドいわきファーム
連絡先：0246-38-8770

芳賀正道 ※※

久野淳一
連絡先：090-9538-8078

佐藤敬
連絡先：090-3756-8541

(有)とまとランドいわき
連絡先：0246-68-6969

鈴木一成
連絡先：0246-34-3984

JA福島さくらねぎ部会GAP研究会
連絡先：0246-32-3012

JA福島さくらいわきいちご部会高設栽培研究会
連絡先：0246-34-3529

富士農苑 (株)
連絡先：090-3368-6866

NPO法人みどりの杜福祉会いわきワイナリー ※※

いわき小名浜菜園 (株)
連絡先：0246-76-1794

石原農園
連絡先：090-3750-5826

(農)菊田の郷 助川農園
連絡先：090-1407-2188

興味ある品目ありましたら直接事業者へお問い合わせください！！

※数量、単価等は事業者とご相談ください。

※本資料は、いわき地方におけるGAP認証農産物の利活用を促進するために作成しました。

※※ブドウについては、ワイン用であるため、生食用としての供給はしていません。

福島県いわき農林事務所組織図

所長

次長

組織体制と主な業務内容

2024(R6)年4月1日

市外局番：0246 【所在地】〒970-8026 福島県いわき市平字梅本15番地 県いわき合同庁舎3階



【当所HP】



【URL】 <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36270a/>